

高橋 裕 (附属音楽高等学校)

『般若理趣交響曲』

1981年3月、北インド、釈迦の生誕地ルンビニの園にいた。未明いまだ暗き中、便意をもよおし予め見当をつけていた建物の裏に出た。(トイレは壊れていたのである。)用を足していると、何物かに呼ばれる気配がした。表にまわると、それはまさに今、巨大な太陽が地平線から立ち上ろうとしているところであった。瞬く間に、鳥たちは囀りだし、農夫は頭に柴を担ぎ裸足で駆けていく。その様は、荒涼たる大地の目覚めであり、天地の胎動、宇宙の律動さえ感じられた。

密教教典、般若理趣教をテキストとした、管弦楽と合唱のための作品「般若理趣交響曲」の始まりは、この時の強烈な体験が元になっている。その後欧州、アジア、北米、中米と様々な国々で作品を演奏していただき旅を重ねてきた。私の心の旅とともにそれらは、私のかけがえのない作品の糧となっている。

(2002年11月 教官アーカイヴ展に寄せて)